

墨田区のお知らせ2011.10.21 NO.1654 (毎月1日・11日・21日発行)

# すみだ

発行：墨田区(広報広聴担当) 公5608-1111代表 〒130-8640墨田区吾妻橋一丁目23番20号

2つの矩形が寄り添うシンボルは、墨田区在住・在勤者、企業やNPOなどと、区および区職員との協働・協治を表すものです。

- 2面以降の主な内容
- 2面…年末調整等合同説明会
- 3・4面…講座・教室・催し・募集

すみだと全国の旬間歳時記

### ●霜降(10月22日ごろ)

二十四節気の一つ。露が冷気によって霜となり降り始める。このころには、楓や蔦も紅葉し始める。また、この日から立冬(11月8日ごろ)までの間に吹く寒い北風を「木枯らし」と呼ぶ。



<http://www.city.sumida.lg.jp/>

## 子どもの健やかな成長をめざして “幼小中一貫教育” の推進

区では、幼稚園、小学校、中学校が連携し、地域の子どもたちを11年間、継続して育てるという視点で、「幼小中一貫教育」に取り組んでいます。“幼小中の円滑なつながり”は、子どもたちの健やかな成長に役立ちます。

### 継続して育む“すみだの教育”

区内の幼稚園、小・中学校には、今日も子どもたちの元気な声が響いています。子どもたちが元気に学校へ通い、学力や体力を身に付け、夢や希望をもって健やかに成長してほしいと思うのは、保護者だけでなく、すべての大人の願いです。

しかし、近年は様々な理由から、学校での生活になじめない子どもが増えています。特に、小学校や中学校に入学した際に起こる子どもたちの問題行動は、「小1プロブレム」や「中1ギャップ」といわれ、生活環境

などの急激な変化に順応できないことが、その要因の一つに挙げられています。

そこで区では、幼稚園から中学校までの“つながり”を円滑にするため、中学校の学区域を一つの単位(ブロック)として「幼小中一貫教育」に取り組んでいます。

これまで、園児による小学校体験、小学生による中学校体験のほか、小・中学校の教員同士が互いに出前授業を行ったり、情報の共有や合同研修等を実施したりしてきました。今後は、平成18年度から先行実施している地域の成果を活かすとともに、保育園の4・5歳児を含めた、



「次はここを折るんだよ」吾妻第二中学校の生徒と八広幼稚園の園児の折り紙を使った交流活動にて

すみだらしい「幼小中一貫教育」を進めるため、「すみだ幼小中一貫教育推進計画」を策定し、区立の園、小・中学校すべてに展開していきます。

ご家庭や地域の方々の理解と協力が、すみだの子どもたちの学力や体力を育み、健やかに成長するための大きな力になります。ぜひ、子どもたちの11年間を支えてください。

【問合せ】すみだ教育研究所 公5608-6621



「この曲分かる人？」八広小学校の先生が八広幼稚園で行った音楽の出前授業にて

### 幼小中一貫教育のねらい

- ▶個性・能力を発揮して様々な人とかわり、仲間や地域等に貢献する意欲と能力を育成する

### 幼小中一貫教育の基本方針

- ▶中学校の学区域を一つの単位として実施
- ▶11年間を見通した一貫性のある学習指導
- ▶11年間を見通した一貫性のある生活・進路指導、特別支援教育
- ▶幼稚園、小・中学校の教職員の計画的・継続的・効果的な交流
- ▶幼児、児童、生徒の計画的・継続的・効果的な交流
- ▶すみだに根ざした特色ある教育活動の積極的な展開



「一緒に遊ぼうよ」吾妻第二中学校の生徒と八広幼稚園の園児の交流活動にて

## 墨田区が進める「幼小中一貫教育」のイメージ

### ブロックのねらい

ブロックの状況に応じた学習・生活指導等の重点目標等を地域内の学校・園が協議して設定します。

### ブロックの検討委員会

ブロック内の校長・園長等による組織で、目標や計画を検討します。

